



看護師と本社の間で

一訪問看護管理者田中めぐみー

書類仕事がひと段落したところで田中めぐみはパソコン画面から視線を上げた。すでに日は沈み、窓から街灯の光が見える。デスクの上には本社からの資料が置いてある。ちらりとそちらに目をやりながら田中は今日の出来事を思い返していた。訪問看護ステーションで働く看護師たちは自分勝手だし、本社の管理部門も何もわかってくれない。

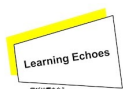
「私にどうしろっていうのよ」

訪問看護ステーションすみれ

田中が訪問看護管理者をしている「訪問看護ステーションすみれ」は、不動産会社が子会社として設立した訪問看護ステーションである。訪問看護ステーションすみれは現時点で5店舗を運営しており、田中が所属している新田支店は常勤換算で6名の看護師が勤めている。田中は総合病院での勤務経験は長いが訪問看護経験は2年と浅い。しかし、看護師としての能力の高さと他看護師や医師からの信頼が厚いことを買われ、昨年からは訪看すみれの新田支店で管理者となった。

今日の午前中は、来週の訪問予定表の作成、明日の訪問予定表のスケジュール変更への対応、主治医への訪問看護報告書を作成をする必要があった。そして昼過ぎからスタッフとの面談が1件、その後本社管理部との打ち合わせが1件予定されていた。

スタッフとの面談



複製物のご注文、または複製許可のご依頼は、Eメール (info@manabico.com) またはHP (https://manabico.com) よりお願いします。本書のいかなる部分も、合同会社manabicoの許可を得ずに、電子的、機械的、複写的、記録的、その他のいかなる手段によっても、複製、検索システムへの保存、表計算ソフトへの使用、または送信することはできません。

Copyright©合同会社manabico (2021年8月)

このドキュメントは、氏名（購入者のメールアドレス）のみが使用を許可されています。コピーや投稿は著作権の侵害となります。コピーをご希望の方は、info@manabico.com までご連絡ください。